

モデルによってはデザインが異なります

The design may differ slightly depending on the model.

このたびは、シチズンウォッチをお買上げ戴きました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

△警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

△注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

△ このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

目次

1. 商品の特徴	3
2. 各部の名称	4
3. モード(表示機能)の切り替え方	8
4. 各針の0位置確認と修正	9
・0位置確認	
・0位置修正	
5. 時刻、カレンダーの合わせ方	13
・時刻の合わせ方	
・カレンダーの合わせ方	
・日付けがカレンダーの窓の中央にない場合	
6. クロノグラフの使い方	20
7. ローカルタイムの合わせ方	23
8. アラームの使い方	25
9. オールリセットについて	27
10. お取り扱いに当たって	29
11. 保証とアフターサービスについて	38
12. 製品仕様	40
13. お問い合わせ窓口	42

1. 商品の特徴

この時計は日付けが自動的に切り替わるオートカレンダーや、24時間制でセットできるデイリーアラーム、1／20秒単位で59分59秒95まで計測できるクロノグラフ等の多機能を搭載したアナログクオーツウォッチです。

2. 各部の名称

名称／モード	時刻／カレンダー	クロノグラフ
① モード針	TME	CHR
② 機能針	0位置で停止	クロノ分、1／20秒クロノ
③ 日付け	日表示 (TME、L-Tのいずれか)	
④ 時針	時表示 (TME、L-T、 ALMのいずれか)	
⑤ 分針	分表示 (TME、L-T、 ALMのいずれか)	
⑥ 秒針	秒表示	クロノ秒
⑦ 24時間針	時針と連動して 24時間表示	時針と連動して 24時間表示

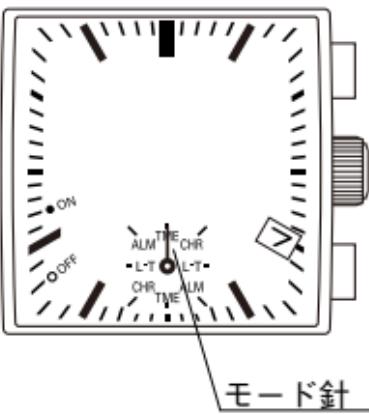
ローカルタイム	アラーム
L-T	ALM
0位置で停止	0位置で停止
ローカル日表示	日表示 (TME、L-Tのいずれか)
ローカル時表示	アラーム時表示
ローカル分表示	アラーム分表示
秒表示	ON/OFF表示
時針と連動して ローカル24時間表示	時針と連動して アラーム24時間表示

名称	りゅうず位置	時刻／カレンダー	クロノグラフ
⑧りゅうず	通常位置	モード切り替え	モード切り替え
	1段引き	カレンダー修正	0位置確認／修正(機能針、日板)
	2段引き	時刻修正	0位置確認／修正(秒針、24時針、時針、分針)
(A)ボタン	通常位置	不使用	スタート／ストップ、リセット(2秒以上の連続押し)
	1段引き	不使用	機能針、日板0位置修正
	2段引き	不使用	秒0位置修正
(B)ボタン	通常位置	不使用	ストップ時 1／20秒呼び出し
	1段引き	月修正	不使用
	2段引き	不使用	不使用

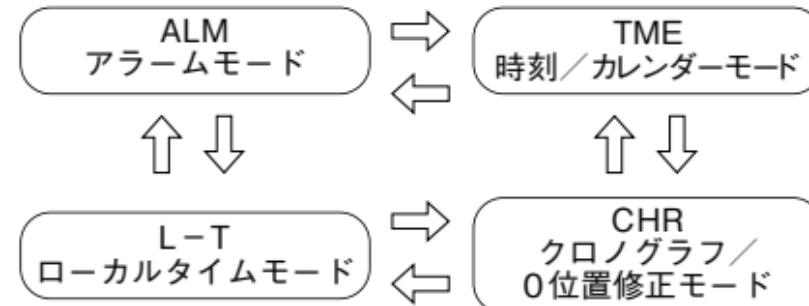
ローカルタイム	アラーム
モード切り替え	モード切り替え
ローカル時刻表示	アラームON／OFFセット
ローカル時刻修正	アラーム時刻修正(ON／OFF切り替え含む)
不使用	アラーム音モニター(2秒以上の連続押し)
不使用	ON／OFF切り替え
不使用	ON／OFF切り替え
不使用	不使用
不使用	不使用
不使用	不使用

3. モード(表示機能)の切り替え方

この時計は、時刻／カレンダー、クロノグラフ、ローカルタイム、及びアラームの4つのモードを持っています。りゅうずを回転させるとモードが切り替わりますのでモード針で現在のモードを確認してください。



【モード／表示機能】



4. 各針の0位置確認と修正

この時計をご使用になる前に、この時計の機能が正しく作動する状態にあることを、次の方法で確認してください。

0位置とは……この時計が正しく機能するための、基準位置のことです。

【0位置確認】

1. りゅうずを回転させてモード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. りゅうずを1段引きにし、0位置確認(機能針と日板修正モード)にします。24時間針、時針、分針、秒針、及び機能針が0位置に早送りされ、日板が「1」を表示しているか確認します。

各針の0位置(基準位置)

24時間針 : 24時00分

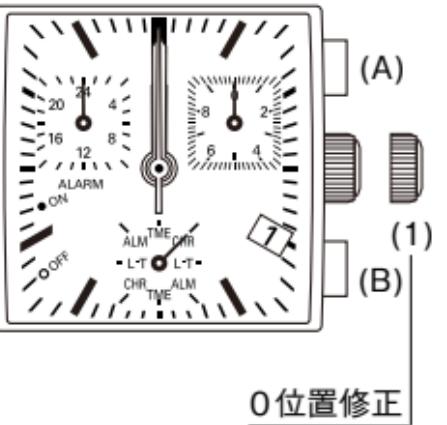
時針、分針 : 00時00分

秒針 : 00秒

機能針 : 0位置(12時位置)

日板 : 1日

各針、及び日板が上記以外のときは、
[0位置修正]を行ってください。



【0位置修正】

機能針と日板の0位置修正

1. クロノグラフ[CHR]モードでりゅうずを1段引きにし、機能針と日板を修正します。

2. りゅうずを左にクリック(回転)して日板を合わせます。

①1回クリックすると機能針が4回転し日付けが1日分修正されます。

②早回転(連続2回以上クリック)すると連続送りになります。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。

途中で停止させないと31日分送った後自動的に停止します。

日付けが「1」に変わった直後の12時位置が機能針の0位置です。りゅうず回転で日板を「31」に修正した後、(A)ボタンを押して細かく機能針を修正させ日板を「1」にしてから機能針を0位置に合わせてください。

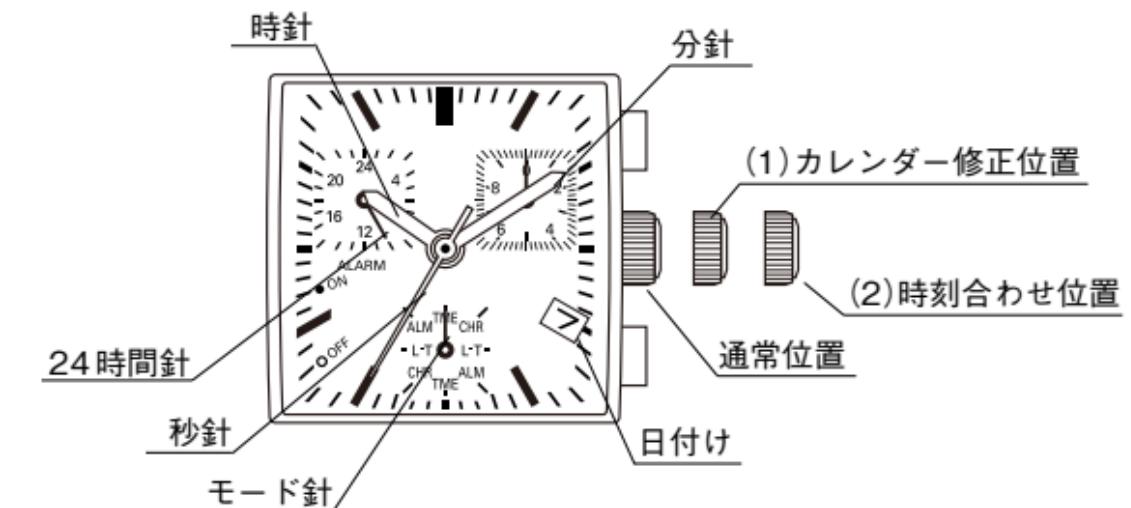
24時間針、時針、分針、秒針の0位置修正

1. クロノグラフ[CHR]モードでりゅうずを2段引きにし、各針を修正します。
- 2.(A)ボタンを押すと、押す毎に秒針が1秒ずつ修正されます。(A)ボタンを押し続けると早送りされます。
3. りゅうずをクリックさせると24時間針、時針、分針が修正されます。
 - ①右に1回クリックすると、時針、分針が正転(時計回り)します
 - ②左に1回クリックすると、時針、分針が逆転(反時計回り)します。
 - ・早回転(連続2回以上クリック)すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。早送りを途中で停止させないと、12時間分修正後、自動的に停止します。

5. 時刻、カレンダーの合わせ方

【時刻の合わせ方】

1. りゅうずを回転させてモード針を時刻／カレンダー[TME]モードに合わせます。



2. りゅうずを2段引き(時刻合わせ位置)すると秒針が0秒位置まで早送りされ停止します。

(注意) 0秒位置で停止しない場合は、「0位置修正モード」で基準位置合わせを行ってください。

3. りゅうずをクリック(回転)して時刻合わせをします。

①右に1回クリックすると、24時間針、時針、分針が正転(時計回り)します。

②左に1回クリックすると、24時間針、時針、分針が逆転(反時計回り)します。

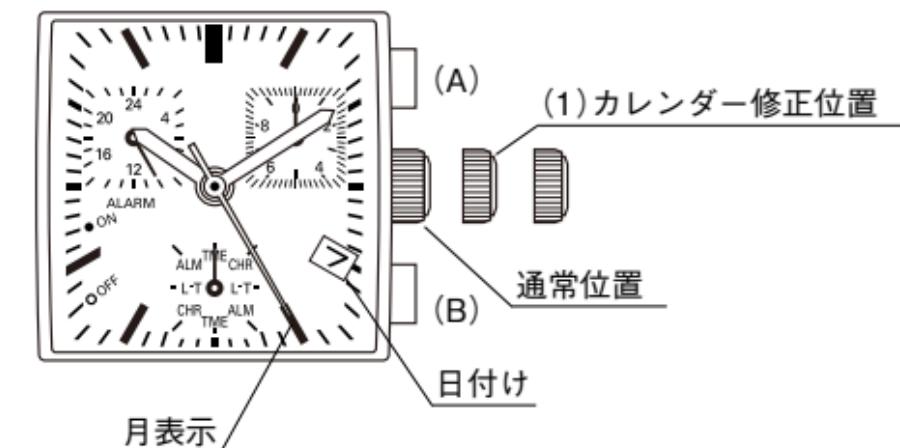
・早回転(連続2回以上クリック)すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。

早送りを途中で停止させないと、12時間分修正後、自動的に停止します。

4. 時報(TEL117)等に合わせて、りゅうずを通常位置に戻してください。

【カレンダーの合わせ方】

オートカレンダーのため月末の修正は必要ありません。ただし、2月は28日周りのため、うるう年の2月のみ修正が必要です。

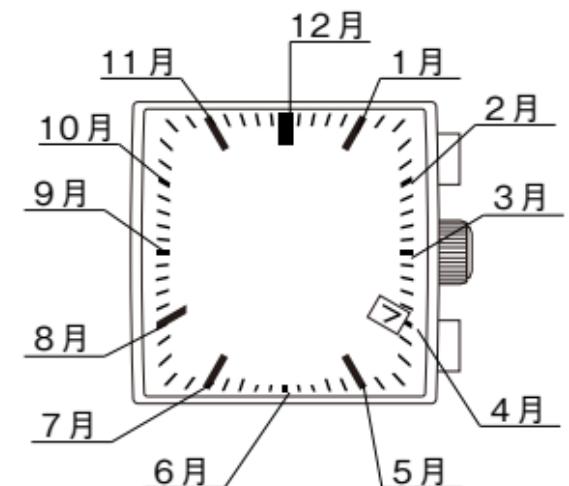


1. りゅうずを回転させて時刻／カレンダー[TME]モードにします。
2. りゅうずを1段引き(カレンダー合わせ位置)すると、秒針が早送りで記憶している月表示位置に移動し停止します。
3. りゅうずを左にクリック(回転)して日付けを合わせます。
 - ・りゅうずを左に1回クリックすると、機能針が4回転し、日付けが1日分修正されます。
 - ・早回転(連続2回以上クリック)すると、連続送りになります。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。途中で停止させないと、31日分送った後、自動的に停止します。

4. (B)ボタンを押すと、月が修正できます。(B)ボタンを押して、月に対応した位置に秒針を合わせます。

月の見方／秒針の位置

- 1月：1時の位置
- 2月：2時の位置
- 3月：3時の位置
- ：
- ：
- 12月：12時の位置



5. カレンダー合わせ後は、必ずりゅうずを通常位置に戻してください。秒針が現在秒に追い付き運針を開始します。

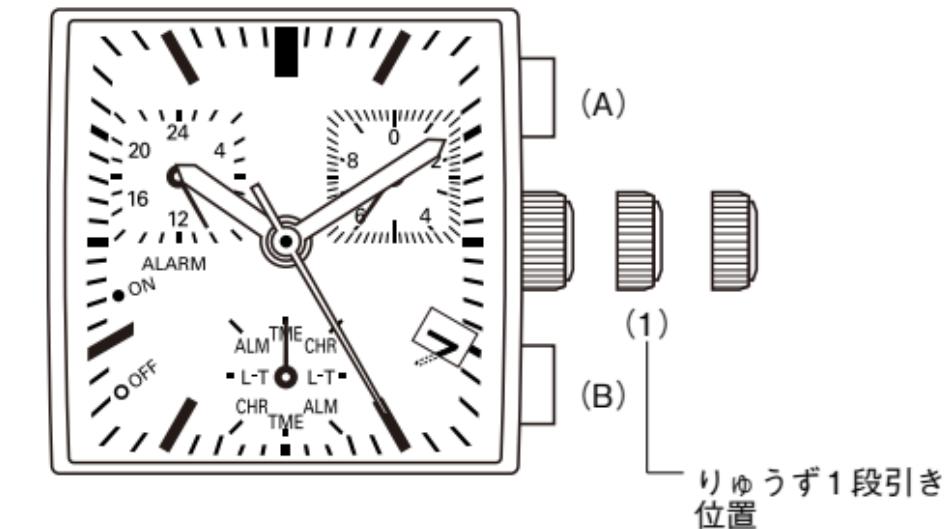
<非存日に合わせた場合>

非存日(例えば、2月30日)に合わせた場合は、りゅうずを通常位置に戻すと、自動的に翌月の1日に切り替わります。

【日付けがカレンダーの窓の中央にない場合】

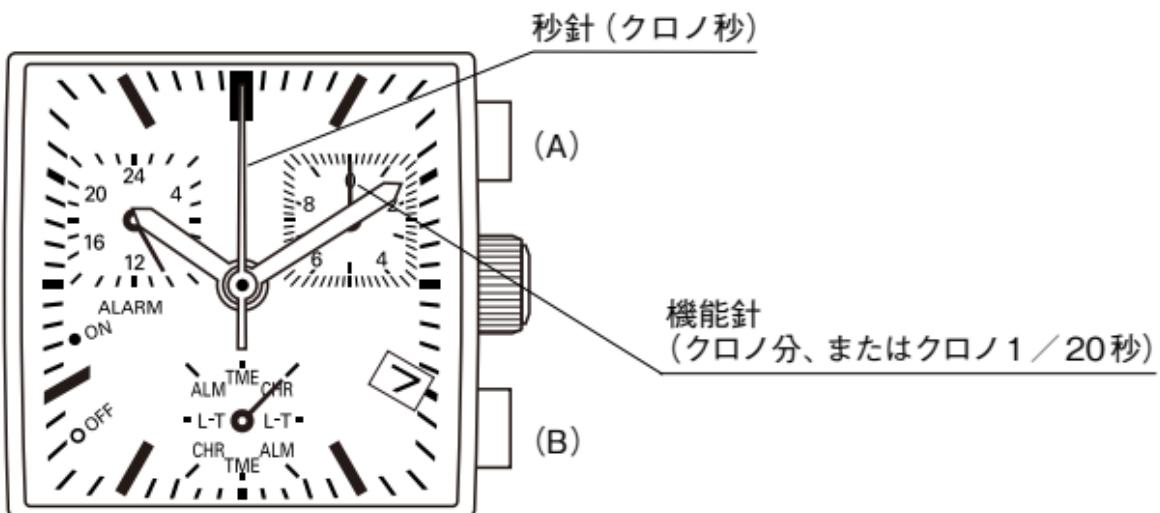
強い衝撃等で日付けが、カレンダーの窓からズレた場合は、「クロノグラフモード」で、機能針と日付けを正しい基準位置に合わせ直してください。

1. りゅうずを回転させ、クロノグラフモードにします。
2. りゅうずを1段引きします。
3. (A)ボタンを押すと、機能針と日付けが少し動きます。
 - ・日付けの「1」がカレンダーの窓の中央にくるまで、(A)ボタンを数回押してください。
 - ・日付けを「1」に合わせた後、機能針が「0」位置にくるまで、(A)ボタンを数回押してください。
4. りゅうずを通常位置に戻してください。



6. クロノグラフの使い方

クロノグラフ計測は1／20(0.05)秒単位で59分59秒95まで計測でき、その後は0秒にリセットされます。



【クロノグラフ計測時の針の見方】

りゅうずを回転させてモード針をクロノグラフ[CHR]に合わせると、秒針、機能針が0位置に早送りされクロノグラフモードになります。

・秒針：クロノ秒針に切り替わります。

0秒スタート時ののみ、秒針が早送りで一周し、その後クロノ秒として1秒運針を行います。

・機能針：クロノ分またはクロノ1／20秒に切り替わります。

クロノ分として1分毎に運針します。クロノストップ状態で(B)ボタンを押すと、押している間クロノ1／20秒表示に切り替わります。

(注意)

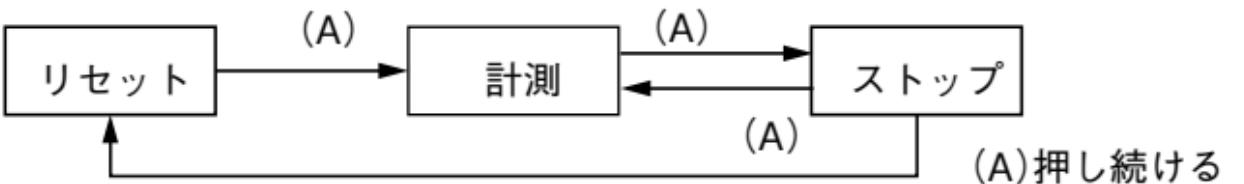
24時間針、時針、分針、日付け：・時刻／カレンダーモードから切り替えた場合は、現在時刻を表示し続けます。

・ローカルタイムモードから切り替えた場合は、ローカル時刻を表示し続けます。

・アラームモードから切り替えた場合は、アラームセット時刻を表示し続けます。

【クロノグラフ計測】

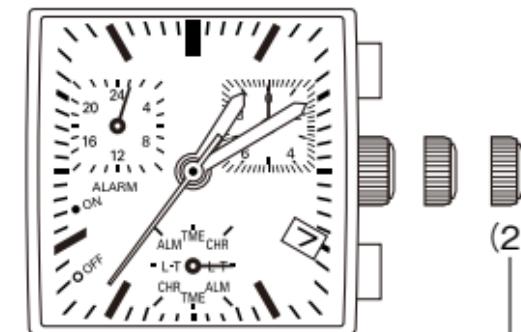
1. りゅうずを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. (A)ボタンを押すと、押す毎に確認音が鳴りスタート、ストップをくり返します。
3. クロノストップ状態で(A)ボタンを押し続けると、クロノ秒針とクロノ分針が0位置にリセットされます。



7. ローカルタイムの合わせ方

ローカルタイムは、現在時刻とは別に他の地域の時刻をセットできる機能です。現在時刻(時刻モード／TME)を基準に、1時間単位で時差修正ができます。分針と秒針は現在時刻に連動しています。

【時差の修正方法】



ローカルタイム合わせ

1. りゅうずを回転させてモード針をローカルタイム[L-T]モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き(ローカル時刻合わせ位置)します。
3. りゅうずを右または、左にクリックして時差を修正します。
・右に回転すると時針が1時間分正転(時計回り)します。

・左に回転すると時針が1時間分逆転(反時計回り)します。

* 時針が確実に1時間分送られるまでりゅうずを回転してください。

(注意) 2回以上連続クリックしても早送りはできません。1時間ずつ確実に修正してください。

なお、時差修正の範囲は、現在時刻を基準に±23時間の範囲です。

4. 修正後は必ずりゅうずを通常位置に戻してください。

(注意) 時針が午前0時を通過すると、日付けが1日分修正されます。

逆転(反時計回り)で修正し、時針が午前0時を通過すると日付けが修正されますが、正転で30日分送りますので日修正に約2~3分位かかります。時差修正は午前／午後に注意して合わせてください。

(注意) 時差を元に戻す際は、修正した反対方向に時針を戻してください。

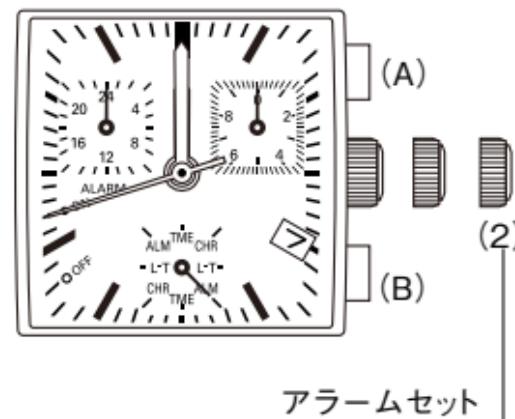
8. アラームの使い方

アラームは24時間制で、1度セットすると1日1回セット時刻にアラーム音が15秒間鳴ります。

アラームが鳴る時刻は、時刻(TME)モードと一致した時で、ローカルタイム(L-T)に合わせてセットはできません。

【アラーム時刻の合わせ方】

1. りゅうずを回転させてモード針をアラーム[ALM]モードに合わせます。
 - ・秒針: 早送りでON、またはOFF位置に移動します。
 - ・24時間針、時針、分針: 前にセットしたアラーム時刻に移動します。
 - ・機能針: 0位置で停止します。
2. りゅうずを2段引き(アラームセット位置)します。
 - ・アラームセットが自動的にONに切り替わります。



3. りゅうずをクリック(回転)してアラーム時刻を合わせます。

①右に1回クリックすると、時針、分針が正転(時計回り)します

②左に1回クリックすると、時針、分針が逆転(反時計回り)します。

・早回転(連続2回以上クリック)すると早送りします。早送りを途中で停止させ場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。早送りを途中で停止させないと、12時間分修正後に自動的に停止します。

・24時間針を目安にして、午前／午後を間違えないようにセットしてください。

4. アラーム時刻セット後は、りゅうずを通常位置に戻してください。

【アラームのON／OFF切り替え】

アラームモードでりゅうず1段または、2段引き状態で、(A)ボタンを押すと、押す毎にアラームのON／OFFが切り替わります。

【アラーム音モニター】

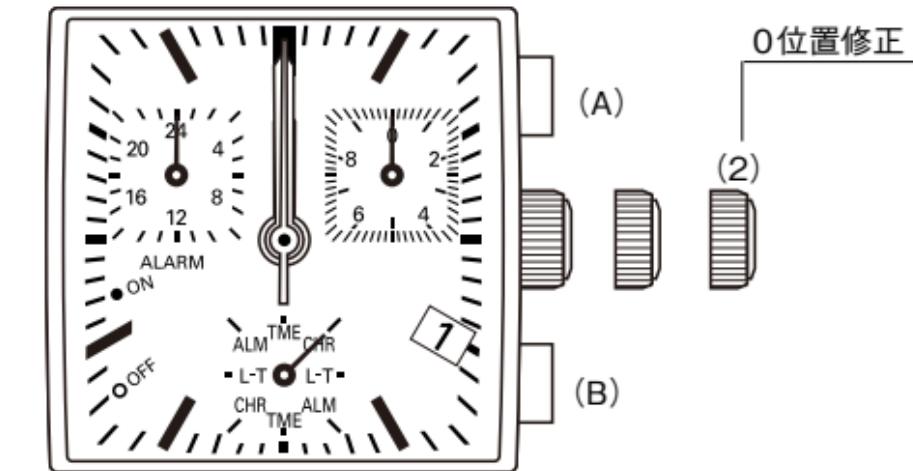
アラームモードでりゅうず通常位置の時、(A)ボタンを押すと押している間アラーム音が鳴ります。

【アラーム音の止め方】

鳴っているアラーム音を止める場合は、(A)または、(B)ボタンを押してください。

9. オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃等により、時計が正しく作動しないことがあります。このような場合には、オールリセット後、基準位置合わせを行ってください。



1. りゅうずを回転させてモード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
 2. りゅうずを2段引き(0位置修正モード)にします。
 - ・各針及び、日板が記憶している0位置に移動して停止します。
 3. (A)、(B)ボタンを同時に押した後、放します。
 - ・確認音が鳴った後、機能針→24時針、時針、分針→秒針の順でデモンストレーション運針を行い、オールリセットが終わったことを知らせます。
- (注意) オールリセット後は、必ず各針の0位置修正を行った後、各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。

10. お取り扱いに当たって



警告 防水性能について

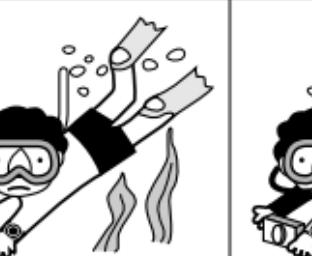
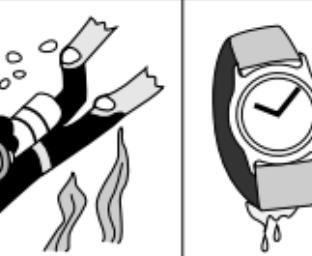
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10／20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スクuba潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

●時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
(1barは約1気圧に相当します)

●WATER RESIST(ANT) × × barはW.R. × × barと表示している場合があります。

名称	表示		仕様
	文字板	ケース(裏ぶた)	
日常生活用防水時計	無表示	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 5 bar または WATER RESIST(ANT)	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST 10/20bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar または WATER RESIST(ANT)	10気圧防水 20気圧防水

使用例			
	水がかかる程度の使用。 (洗顔、雨など)		水仕事や、一般水泳に使用。
			スキンダイビング、マリンスポーツに使用。
			空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。
			水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。

△ 注意

- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

△ 注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの（衣類、バック等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

△ 注意 バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

△ 警告 電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

△ 注意 電池交換について

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

△ 注意 時計は常に清潔に

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
 1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

＜時計のお手入れ方法＞

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまつたゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

＜ナチュライト付きの場合＞

- 「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。
ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちてきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
光が充分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

＜温度について＞

- -10°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。
- 常温 ($+5^{\circ}\text{C}$ ～ $+35^{\circ}\text{C}$) から外れた温度下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。

＜磁気について＞

- 磁石には近づけないでください。磁気健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア・パックの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

＜静電気について＞

- クオーツウォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保管について＞

- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますので、ご注意ください。

11. 保証とアフターサービスについて

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でのこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

5. 定期点検(有償)について

安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度点検(有償)を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

6. 電池について

お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。

※電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。

7. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

12. 製品仕様

- ・機種：A510
- ・型式：アナログクオーツウォッチ
- ・時間精度：平均月差±20秒(常温+5°C～+35°C携帯時)
- ・作動温度範囲：
 - 時計の作動温度範囲：-10°C～+60°C
 - 時刻修正作動温度範囲：-5°C～+60°C

- ・表示機能
 - 時刻：24時間、時、分、秒
 - カレンダー：日板による日付け表示(連続送り機能付き)
秒針による月表示

- ・付加機能：クロノグラフ(60分計、1/20秒単位)
ローカルタイム(時差修正：1時間単位)
アラーム(24時間制、アラームモニター、アラームON/OFF)
- ・使用電池：280-44 SR927W
- ・電池寿命：約2年
使用条件の目安は次の通りです。
アラーム：15秒/日、 クロノグラフ：60分/日

※仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。